

過去に北大病院循環器内科に入院し治療を受けた
患者さんまたはご家族の方へ（臨床研究に関する情報）

北海道大学大学院循環病態内科学では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（令和3年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第1号）」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の連絡先へご照会ください。

[研究課題名]

多種モダリティを用いた循環器疾患における運動耐容能低下因子の同定

[研究責任者名・研究機関名・所属名]

表 和徳（北海道大学大学院 循環病態内科学 助教）

[研究の目的] 心肺運動負荷試験(CPET)が行われた患者さんを対象に心機能や血行動態と運動耐容能及び予後との関係を検討することです。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

循環器疾患の患者さんで、2009年1月1日から2018年12月31日までの間に当院でCPETを行った方。

○利用する情報

カルテ情報：2021年12月31日までの下記情報を利用します。

- ① 研究対象者基本情報：年齢、性別、身長、体重、バイタル、診断名、NYHA心機能分類、既往歴、投薬内容
- ② 血液学的検査：血算（ヘモグロビン、白血球数、血小板数）、生化学検査（TP, Alb, T-Bil, AST, ALT, LDH, γ -GT, BUN, Cre, UA, Na, K, Cl, BNP, NT-proBNP, tropT）
- ③ 心エコー検査：ドプラ法による1回拍出量、心拍出量、三尖弁逆流最大速度、左室駆出率、左室流入血流のE、A、E/A、e'、E/e'、弁逆流重症度、下大静脈径と呼吸性変動の有無、VMTスコア、左房容積係数、右房容積係数、右室径、RVs'、TAPSE、RVFAC、ストレーン解析
- ④ 心臓カテーテル検査：右心カテーテル検査（Swan-Ganzカテーテルを用いて、心内圧測定[右房圧、右室圧、肺動脈圧、肺動脈楔入圧]、心拍出量）、冠動脈造影検査、心筋生検による心筋病理所見
- ⑤ 呼吸機能検査：%VC、FEV1/FVC、FEV1、DLCO
- ⑥ 画像検査所見（レントゲン検査、CT検査、心臓MRI検査、心臓核医学検査）
- ⑦ 予後調査（心臓死、全死亡、心不全入院）

○送付方法

この研究は、上記の研究機関単独で実施します。

[研究実施期間]

実施許可日～2024年12月31日

2022年5月23日（第1版）

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

* 上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

北海道大学大学院 循環病態内科学 大学院生

担当医師：中村 公亮

住所：札幌市北区北15条西7丁目

電話：011-706-6973 FAX：011-706-7874